

ガスと水を相手に洗練された 高精度な切削加工技術

- 納期 期
- 企画力 有
- コスト 相
- メイドイン 相
- 試作可 小
- 量産 対



技能検定の題材として切削加工された部品

業務内容

**主要設備を駆使し
効率的な加工を実現**

水栓器具やガス器具を構成する各種金属部品の切削加工をメインに手掛ける。素材は真ちゅうを中心に一部ステンレスや鉄系鋼材など。基本の棒状材料に加え、鍛造による異形素材など広範な加工を行う。対象物の材質や形状により6軸自動旋盤やNC旋盤、マシンングセンターなど主要設備を駆使し効率的かつ高精度な加工を実現している。さらに市場は音響製品向け部品や建設機械、鉄道車両向けなど多岐に渡り、特殊光源向けプロジェクトランプのソケット部など新規分野の加工要請にも培った切削・転削加工のノウハウや技術力で応えている。

強み

**業界に先駆け高品質な
量産加工体制を確立**

昭和33年の創業以来、切削加工一筋で培ってきたノウハウと技術力が最大の強み。新機能を備えた最新鋭設備をいち早く整え、材料メーカーや納入先と連携した技術革新で市場の期待に添えてきた。中でも約40年前、棒状材料の自動加工化に着目。業界に先駆け、カム式6軸の自動旋盤を導入し効率的かつ高品質な量産加工体制を実現した。その後、ステンレス素材を削るためNC化へ業容を拡大。大量生産から1個だけ



棒材を効率的に切削加工する6軸自動旋盤

の単品加工まで、個数にかかわらず品質・価格・納期で満足を提供している。

人材育成

**技能検定やQC検定の
促進で技術者を育成**

蓄積されたノウハウと技術力を発揮しQCD（品質・価格・納期）で顧客に満足を与える提案型ものづくり企業を目指す。そのため技術者育成を重要テーマに掲げ、社員に機械加工の数値制御に関する技能検定やQC検定への挑戦を促進。自身の技術レベルを把握させ、課題や努力目標を明確化し技能向上を図る。一方、社長が率先し汎用旋盤など機械の仕組みを徹底して理解する取り組みを実践。機械が数値制御され職人技を必要としない状況下、社員に加工の基本や仕組みを認識させることで、技能伝承および加工品質を確保する目を養っている。

今後の展望

**新鋭設備導入で新規分野
への提案力を強化**

技能検定など第三者による評価システムを社内定常化させ技術の継承と維持向上を目指す。一方、平成24年度補正予算による補助金制度を活用し新たに5軸旋盤を導入する。鍛造以外では製作できなかった複雑な形状や特殊な材質の試作品を、新鋭設備と既存のノウハウを駆使し切削で作る計画。製作スピードの向上と形状変更への対応力を特性として打ち出し、多様化する顧客ニーズに応える。とくに航空機や原子力関連など、成長市場の改革を柱に異業種・異分野への提案力を強め裾野の広い事業展開を図っていく。

COMPANY PROFILE

株式会社 岡本製作所

大阪 25

ISO 9001
ISO 14001

当社の 歴史

昭和33年、岡本健三郎氏（現会長）が東大阪市中小阪に「岡本製作所」を個人で創業。事業拡張により事業所を移転、昭和45年に現在地で事業を継続。昭和47年に法人化。昭和60年八尾工場を設立。平成20年、代表取締役として東口勝紀氏が就任しています。



代表取締役 東口 勝紀さん

長年蓄積された技術を強みに、QCD（品質・価格・納期）で満足頂ける提案型ものづくり企業です。

■主な事業内容

ガス器具、水栓器具部
品を中心とした金属部
品加工および製造販売

■主な取引先（納入先）

ガス・水栓器具・高圧バルブ・特殊照明器具メーカーなど

住所 / 〒578-0932
東大阪市玉串町
東3-5-18

TEL / 072-961-1234
FAX / 072-965-6793

創業 / 昭和33年11月
設立 / 昭和47年7月
資本金 / 2,000万円
従業員 / 96名

<http://www.okamoto-ss.jp>